

宝林宝樹

(27)



「そこにあるのに見えないものなくんだ？」なぞなぞです。答えは「まつげ」
だそうです。

社会の発達で、私たちの周りはものが溢れ、色々なことが便利になりました。
ネットを使えば家から一步も出ずに生活ができる、とか、ややもすれば「自分は
一人で生きられる」そんな声も聞かれる今の時代です。

しかしながら、私たちは決して一人だけで生きていくことはできません。たと
え家から出ることなく生活出来たとしても、そこには多くの繋がり（ご縁・ご
恩）をいただいています。衣食住や、ネット環境も貨幣経済も、私たちの命も、
一人で準備できたものは何一つ無いでしょう。また、目に見える繋がりだけでは
ありません。ゴミや埃や汗が目に入るのを防いでくれる「まつげ」の様に、目の
すぐ前にあるのに、普段は気付かず意識すらしない、そういう繋がりも沢山あり
ます。目に見える見えないに関わらず多くの繋がりの中に、私たちは命をいただ
いて生きているのです。

すべての繋がり（ご縁・ご恩）を意識し生活することは無理なことです。でも
気付いた時は「有難うございます」と手を合わせる、そんな日暮らしを送って
きたいものですね。

宝林宝樹

(27)



「そこにあるのに見えないものなくんだ？」なぞなぞです。答えは「まつげ」
だそうです。

社会の発達で、私たちの周りはものが溢れ、色々なことが便利になりました。
ネットを使えば家から一步も出ずに生活ができる、とか、ややもすれば「自分は
一人で生きられる」そんな声も聞かれる今の時代です。

しかしながら、私たちは決して一人だけで生きていくことはできません。たと
え家から出ることなく生活出来たとしても、そこには多くの繋がり（ご縁・ご
恩）をいただいています。衣食住や、ネット環境も貨幣経済も、私たちの命も、
一人で準備できたものは何一つ無いでしょう。また、目に見える繋がりだけでは
ありません。ゴミや埃や汗が目に入るのを防いでくれる「まつげ」の様に、目の
すぐ前にあるのに、普段は気付かず意識すらしない、そういう繋がりも沢山あり
ます。目に見える見えないに関わらず多くの繋がりの中に、私たちは命をいただ
いて生きているのです。

すべての繋がり（ご縁・ご恩）を意識し生活することは無理なことです。でも
気付いた時は「有難うございます」と手を合わせる、そんな日暮らしを送って
きたいものですね。